

2022年度学校評価【西南学院中学校・高等学校】

建学の精神および学校法人西南学院の使命

学校法人西南学院は、「西南よ、キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人格を育てることを使命とする。

建学の精神である「西南よ、キリストに忠実なれ」という言葉は、Lで始まる4つの英単語を用いて表され、本校では、チャペル講話をはじめ様々な教育活動においてこの4つのLを取り入れて具体的に実践している。

- ・L i f e（生命）：すべての人命を積極的に尊重すること
- ・L o v e（聖愛）：真の神を礼拝し、他者に奉仕すること
- ・L i g h t（光明）：知なきところに真理の光を掲げること
- ・L i b e r t y（自由）：責任ある自由をもって行動すること

学校法人西南学院のビジョン

- ①人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践
- ②教育研究：確かな教育力と新たな知と価値の創造
- ③国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得
- ④地域貢献：進化する福岡とともに歩む学校としての自覚と協働
- ⑤経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

西南学院中学校・高等学校における教育の目標

- ①かけがえのない“L i f e（いのち）”を大切にすること
- ②“L o v e（聖愛）”の実践を通して、隣人に仕えること
- ③“L i g h t（世の光）”として、平和構築に貢献すること
- ④真理を探求し、真の“L i b e r t y（自由）”を得ること

西南学院中学校・高等学校における学校評価の進め方と2022年度の重点目標

建学の精神を堅守しつつ、生徒一人ひとりの個性と適性を尊重した教育を目指す。また、国家、地域、年齢、言語等を超えた、多様で普遍的な価値観に対応できる平和を実現する人の育成を継続するとともに、ポストコロナ時代における学びのニューノーマルを想定し、将来に向けた健全な財政計画に基づいた教育体制の点検と整備を進めることを目指す。

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的な計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
人間育成 ①平和をつくりだす人間教育 ②隣人愛の理解と実践 ③奉仕の精神を持って社会を先導する人間の育成	1	「平和をつくりだす人間教育」「キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践」の反映と浸透	1	中・高	チャペルやミッション・ウィークを活用した「いのち」を大切にする教育や「人権教育」の充実、また、「いじめ」防止に向けた教育プログラムの充実	人権・「同和」学習の継続的な実施と充実	チャペルやミッション・ウィークを通じて、自他に与えられたいのちの尊さを深く理解する機会を設け、さらなる内容の充実を図る。また、人権・「同和」教育特設ホームルームでの講演や視聴覚教材による授業、「いじめ」アンケートの実施と振り返り等を通じて、啓発活動を継続する。	宗教部	2022年度は新型コロナウイルスの感染状況によってZoomを併用するスタイルを維持しつつ、計画通りに毎週のチャペルと前後期ミッションウィークを実施した。中高共に、生徒による発表などを盛り込んで、生徒が主体的・積極的にチャペルの時間に向かうための働きかけを行った。また、人権・「同和」教育特設ホームルームでの講演や視聴覚教材による授業、「いじめ」アンケートの実施と振り返りを行った。	A	現在の取り組みを継続するとともに、プログラムの検証や改善に取り組むことができた。
			2	中・高	中学3年沖縄修学旅行や「韓国への(からの)旅」等の交流プログラムによる平和学習の充実	平和学習の継続と充実	生徒と共にいる事前学習プログラムのさらなる充実を図り、中・高生が韓国を訪問し、現地の生徒たちとの交流活動を通じた平和学習を継続する。	宗教部	2022年度は、新型コロナの感染状況を鑑みて、出かけて行く／お迎えする「韓国の旅」は実施できなかったが、8月にZoomを利用したオンラインの交流会を実施し、日韓で25名の中高生の交流が行えた。中3生の沖縄修学旅行は、感染防止策に留意して実施することができた。	B	現在の取り組みを継続するとともに、プログラムの検証や改善に取り組むことができた。
			3	中・高	生徒が主体的に企画・運営するチャペル企画やボランティア活動の充実	生徒が主体的に参加するチャペル活動や奉仕活動の実施と充実	路上生活者や生活困窮者への支援物資受付等、生徒が主体的に企画するボランティア活動を継続し、さらなる内容の充実を図る。	宗教部	2022年度は路上生活者や生活困窮者への支援物資受付と関係団体への寄託をはじめ、クリスマス献金や震災忘れない募金について取り組み、多くの協力を得た。また、YWCA全国カンファレンス(オンライン開催)に3名が参加した。福祉施設との連携の可能性や3月の学内募金の方法に関して、生徒からの積極的なアイデアをもらいながら準備を進めた。	A	現在の取り組みを継続するとともに、プログラムの検証や改善に取り組むことができた。

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施結果

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
人間育成 ①平和をつくりだす人間教育 ②隣人愛の理解と実践 ③奉仕の精神を持って社会を先導する人間の育成	1	「平和をつくりだす人間教育」「キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践」の反映と浸透	4	中・高	地域の教会や他のキリスト教主義学校との連携によるプログラムの充実	外部組織との連携強化によるチャペル等の充実	従来と同様に、地域の教会の牧師や他のキリスト教学校の教員等にチャペル講師を依頼し、さらなる内容の充実を図り、他校やキリスト教事業体との協力による企画展の実施を検討する。クリスマスや震災復興支援の街頭募金、社会福祉施設訪問、キリスト教学校フェア参加、地域住民対象のコミュニティクリスマス実施等、現在の取り組みを今後も継続する。	宗教部	今年度も感染状況を考慮し、聖書科の「教会出席レポート」は実施を見送った。チャペル講話においてはバプテスト連盟を中心に、多くの牧師を迎えた。「カルト問題」への対策として、他大学・キリスト教学校とのネットワークに参加し、情報交換に努めた。	A	教会出席レポートの実施は見送ったが、チャペル講話において、多くの牧師を迎えることができた。
	2	社会の担い手となるサーバントリーダー育成プログラムの充実	5	中・高	生徒に対するサーバントリーダー育成のための教育プログラムの充実	サーバントリーダー育成プログラムの創設・展開	校内外で実施する「クリスマス募金」や「震災忘れない募金」活動を通じて、生徒が他者に仕え、配慮しながら行動することの実践機会を設ける。	宗教部	12月の「クリスマス街頭募金」、3月の「震災忘れない募金」とともに、例年よりも小規模ではあったが実施できた。ウクライナの人々への支援、トルコ・シリアへの緊急支援をメインに募金活動に注力し、3月の「震災忘れない募金」では中高それぞれに生徒会主体で校内での募金よびかけを実施した。	A	現在の取り組みを継続するとともに、プログラムの検証や改善に取り組むことができた。

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施結果

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
教育研究 ①一人ひとりの個性を引き出す保育・教育力の充実 ②総合的な「知」を志向した教育機会の提供 ③社会を先導し、社会へ貢献することを目指した研究機能の充実・強化	1	カリキュラム・教科教育	1	中・高	教科教育の充実	生徒の学力向上と幅広い進路保障の確立	中学・高校ともに新学習指導要領に対応して編成されたカリキュラムを計画的に実践する。さらには、中学・高校の各教科において移行後の教育内容を検証し、教育内容のさらなる充実に向けた検討を行う。	教務部	高校においては、2022年度入学生教育課程の一部見直し、教育課程表の2・3年次の一部科目を変更した。教育内容のさらなる充実に向けた見直しについては検討が不十分である。	B	未達成の部分があるため。
			2	中・高	ICT教育の検討	ICT教育システムの積極的な活用による生徒の主体的学習の促進	中学においては新1年生、高校においては新1年生(一般生)、教員においては新任者にタブレットを配付する。また、デジタル教科書や各種ラーニングソフト教材を導入し、生徒の主体的な学習推進と教員の校務改善を図る。また、校内PCおよび教員端末の全面入替と校務システムのクラウド化に伴う情報環境の整備、全生徒・教員へのタブレット導入完了に伴うWi-Fi環境の整備を推進する。	ICT教育委員会	予定通りタブレットを配付することができた。デジタル教材を導入する教科が増え、ICTを用いた学習が推進している。また、希望者を対象にatama+を導入し、中高合わせて年間100名程度の利用者がいた。Wi-Fi環境の整備については、計画通りに進み完了した。これにより、2023年度から全生徒が授業等でWi-Fiを利用してインターネット接続ができるようになるため、通信量の制限に縛られることがなくなった。	A	2023年度新中1・新高1導入を達成した。また、Wi-Fi環境の整備については物資調達遅れ等の事情により、計画よりも大幅に執行に遅延が生じたが、最終的に年度内に実施できた。
	2	進路指導	3	中・高	キャリア教育(進路指導)体制および手法の見直しと検討	生徒の特性や希望に即したキャリア教育指導体制の確立	中学・高校ともに、現在行っている各種進路説明会や大学説明会等を継続的に実施し、その効果を検証するとともに、キャリア教育のさらなる充実に向けた企画を実際に行っていく。	進路指導部	・新たに関西学院大学や関西大学、福岡大学など大学説明会の実施大学数を増やした。 ・医療系学部への進学希望者のための説明会も昨年同様3回実施した。昨年に比べ参加者は増加した。 ・中学校においては、新しいキャリア教育プログラムとして中学2年生の希望者を対象に「サマーチャレンジ×Career Experience2022summer」を実施した。	B	・実施大学数を増やしたが、7月下旬が新型コロナ感染拡大期に重なり、参加者が非常に少ない説明会もあった。医療系学部への進学希望者のための説明会は昨年に比べ参加者は増加した。中学におけるサマーチャレンジは非常に好評であった。ただ、こうした説明会がどの程度効果を発揮しているかの検証には至らず、検証方法を検討する必要がある。
3	特別支援	4	中・高	特別支援体制の整備と充実	生徒の状況に応じた教育支援の確立	支援を必要とする生徒の情報を共有し、それを基にした具体的な個々の支援のための計画を立案し共有、実行して検証する場を設ける。様々な支援体制の充実に向けた校内研修を行い、関係機関との連携強化に努める。	総務部	支援を必要とする生徒情報の共有は校務支援システムの活用などもあり、充実してきているが、研究については、実施しておらず、また関係機関との連携についても強化できたとは言えない。	B	一部未達成であるため。	

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施結果

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
教育研究	4	総合的な「知」の探究	5	中・高	外部講師による講演会やチャペル講話の充実・強化	幅広い知識の修得による知的好奇心の醸成と精神的成長の促進	外部の優れた人材を積極的に活用し、様々な新しい見解や知見に接する機会を増やす。	宗教部	世界各地の貧困問題、難民問題、大規模災害支援、紛争地の平和構築に取り組む方や人権・福祉の課題に取り組む方を講師に迎えて、具体的な課題から照らされる聖書のメッセージを生徒に届けることができた。「保護者バイブルクラス」についても、母の会の協力を得て2回実施した。	A	外部の多様な業界からの講師を迎え、新しい知見に接する機会を増やすことができた。
	5	教員の資質向上	6	中・高	研究授業の積極的展開	教員のスキルアップに向けた研究授業制度の確立	各教科を中心に、研究授業や研究発表を適宜実施して教科教育のさらなる充実を図るとともに、自主的な研究発表や勉強会への支援に向けた研修を検討し、関係機関との連携強化に努める。	教務部	各教科において、研究授業を実施する計画を立てているが、一部の教科で達成できなかった。自主的な研究発表や勉強会などの活動についても支援ができなかった。	B	未達成の部分が多いため。
国際感覚	1	グローバル社会の担い手の育成	1	中・高	多様性を認め合う共生社会の形成に向けた国際交流プログラム(海外研修・留学生受入を含む)の充実	国際交流の積極的な展開によるグローバル教育の充実	高校訪豪研修、ピース・メイキング・プログラム、インターナショナル・デイ・キャンプの実施と検証を継続するとともに、中学における海外研修プログラムおよびターム留学制度を検討し、受入クラスの割当や具体的な支援体制等、海外からの留学生受入に際してのルールを策定し、校内制度としての明文化を検討する。	総務部 教務部	高校訪豪研修、ピース・メイキング・プログラムはコロナや希望者が少ないことで実施できなかったが、インターナショナル・デイ・キャンプについては予定通り実施できた。ターム留学制度は2021年度から発足し、今年度もこの制度を利用して短期の語学留学を経験した生徒もいる。中学海外研修プログラムについても検討し、次年度は中学生も訪豪研修プログラムに参加できるようになった。	A	訪豪研修は実施できなかったが、中学の海外研修プログラムに関して、進展が見られ、概ね達成することができた。
	2	英語教育のさらなる強化と拡充	2	中・高	全生徒に対する英語力の全般的な向上	英語を活用したコミュニケーション能力の向上	オンライン英会話授業の運用状況と効果測定について、英語科を中心に検証し、必要に応じて運用計画の見直しを行う。また、生徒のさらなる語学力向上に反映させるための方策について検討する。	教務部	オンライン英会話は引き続き実施している。	B	運用計画の見直し・検討については実施していない。

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施結果

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
国際感覚		英語教育のさらなる強化と拡充	3	中・高	GTEC等の英語力の学外指標の導入	大学入試対策に合わせた英語力の向上	英語外部検定試験(GTEC)を計画的に実施し、英語科と協力しながら実施後の検証を行うとともに、入試において英語外部検定試験が利用できる大学の情報を収集し、生徒へ提供する。	教務部 進路指導部	2022年度はGTECについては、昨年度同様、各学年で取得したGTECのスコアを一覧表にまとめて高3の学級担任に提供し、大学入試の際の調査書にも記載できるよう配慮した。一方で、中学校でもGTECを実施し、英語科が生徒の英語力の成長を測る指標の一つとして活用しているが、検定版ではないため、生徒の英語学習のモチベーション向上につながっていないという面もある	B	今年度もGTEC以外の検定試験の検討までに至らなかったため、その点が今後の課題である。
地域貢献	1	地域における貢献活動	1	中・高	ボランティア活動やイベント等の地域貢献活動・地域福祉活動の充実	地域貢献活動の充実にに向けた組織と制度の整備	校内外で実施する「クリスマス募金」や「震災忘れない募金」活動を通じて、生徒が他者に仕え、配慮しながら行動することの実践機会を設ける。また、本校からの出前授業や一般中学生の本校訪問、PTA学校訪問の受入等、地域住民・保護者への情報提供を目的とした活動を今後も継続し、参加者からの意見や要望を収集するための方策について検討する。	宗教部 総務部 生徒指導部	新型コロナウイルスの感染状況を考慮して施設訪問ボランティアの実施は見送ったが、12月のクリスマス街頭募金、3月の「震災わすれない校内／街頭募金」を企画し、多くの生徒の参加・協力を得た。中高チャペルを会場にコミュニティクリスマスが実施され、地域の方々と共にクリスマスを祝う機会があった。3月末には本校を会場に、福岡近郊のキリスト教学校5校の共同企画として「福岡キリスト教学校フェア2023」が持たれた。	A	概ね達成したため。

2022年度 西南学院中学校・高等学校 学校評価実施結果

ビジョン	中長期事業計画					2022年度事業計画案	担当部署	2022年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2022年度の具体的計画内容	2022年度の具体的実施内容	評価	評価の理由
地域貢献 ①地域社会との協働 ②国際交流都市福岡への貢献 ③地域に開かれ、地域に貢献する空間づくり	2	地域住民との連携	3	中・高	百道浜自治協議会との連携強化	連携のための組織および制度整備による地域との関係性の向上	地域との連携に向け、自治協議会関係者との情報交換や懇談、地域住民からの意見や要望を収集するための方策について検討する。	総務部	昨年に引き続き自治協議会や青少年育成協議会、交通安全推進委員会に出席し、地域の方々から見た本校についての評価や、本校への要望を収集することができた。また地域との良い関係を構築することができた。	A	概ね達成することができた。
経営基盤 ①経営体制の充実・強化 ②健全な財務基盤の確立 ③社会的責任の遂行	1	運営管理体制の強化	1	中・高	危機管理体制(災害対応・施設強化を含む)の充実・強化	危機管理体制および設備・機器の整備による生徒・教職員に対する安全管理の向上	危機管理マニュアルの整備や防災備蓄計画についての検討を継続する。特に危機管理については、時代の変化に伴い、サイバーセキュリティ等、これまで想定されてきた危機的な状況とは異なるものに対応できるような体制を構築する。	総務部 事務室	危機管理マニュアルの整備や防災備蓄計画についての更新が実施された。その際、チャペルでの講話と関連させ、生徒に防災について考えさせる機会も設けた。備蓄品の更新に際して生徒・教職員の防災意識は多少とも向上したと感じられる。	B	厳格な個人情報管理に留意した教職員間の緊急連絡網整備については構築できていない。